

パラグアイ内政・外交報告（11月分）  
政治情勢

2018年12月作成

**1 内政**

（1）オベラル教育副大臣の解任

13日、アブド・ベニテス大統領は大統領令により、オベラル教育副大臣を解任しセステ副大統領を新たに任命した。副大臣解任の背景は、ペッタ教育大臣がオベラル副大臣の親族の関連会社と教育省との関係に不透明な部分があると指摘したことに対して、オベラル副大臣がペッタ大臣の教育省内の人事に不透明性があると応酬したことを発端に、教育省における混乱が発生。最後はオベラル副大臣が辞任し、混乱の幕引きがはかられた。

**2 外交**

（1）日パラグアイ外交関係100周年にかかる上院決議

1日、アルバレンガ上院議員は、上院パラグアイ日本友好議員委員長（友好議連会長）として、パラグアイと日本の外交関係100周年の記念事業を国家の関心事項とする旨の決議案を提出し、投票の結果、同決議案が採択された。同決議の目的は、外交関係樹立・修好100周年を祝うために、2019年に実施が見込まれる各種事業を支援することである。

（2）アブド・ベニテス大統領のバチカン・イタリア訪問

ア 5日、アブド・ベニテス大統領は、カスティグリオーニ外相及び主要閣僚とともにフランシスコ法王と会談した。同大統領は、法王に対して、アスンシオン市コスタネラに建設予定であるパラグアイ初の福者となったチキトゥンガを祀る礼拝所を紹介するとともに、パラグアイ政府が推進している人々の生活の質を向上させ、また社会の最も弱い立場の人々に味方した法王の説法と合致する目的をもった社会開発事業を紹介した。

イ アブド・ベニテス大統領は、カスティグリオーニ外相及び主要閣僚とともにクレイナーレ宮殿にてマッタレッラ伊大統領と会談した。カスティグリオーニ外相は、良好な二国間関係を際立たせる両者の会談は、大変興味深く実りのあるものであった旨述べるとともに、イタリア政府はEUメルコスール間交渉の署名を重視している旨述べた。また、両大統領は、ベネズエラを取り巻く、経済、社会及び人道危機の悲劇を憂慮していることで一致した。

ウ カスティグリオーニ外相は、モアヴェロ＝ミラネージ伊外務・国際協力大臣と会談した。両外相は、メルコスールEU交渉の締結に向けた努力を再確認するとともに、二重国籍に関する協定及び環境分野の協力覚書（8日に署名）の終了を祝福した。また、両外相は、政策協議及び科学文化協力共同委員会といった既存の二国間のメカニズムを活性化させることを決定した。

（3）チュニジアとの外交関係樹立

6日、パラグアイ外務省はチュニジアと外交関係を樹立した旨のプレスリリースを発売し、11月1日に外交関係樹立にかかる共同声明が署名されたことを明らかにした。

#### (4) パラグアイ・アルゼンチン外相会談

12日、カスティグリオールニ外相は、アルゼンチンを初めて公式訪問し、フォーリー亜外相と会談した。両外相は、会談において、政策、エネルギー、河川航行、国境の統合、貿易、技術委員会の会合の招集等の二国間の議題につき意見を交わした。

#### (5) アブド・ベニテス大統領のイベロアメリカ・サミットへの出席

15～16日、アブド・ベニテス大統領は、グアテマラで開催された第26回イベロアメリカ・サミットに出席した。アブド・ベニテス大統領は、サミットにおいて以下の点につき言及した。

(ア) 持続可能な開発目標

(イ) 制度の重視

(ウ) 教育改革

(エ) イベロアメリカ・コミュニティにおける協働モデル

(オ) 民主主義的価値の擁護

イ アブド・ベニテス大統領は、イベロアメリカ・サミット出席の機会を捉え、各国と二国間会談を行った。

(ア) モラレス・グアテマラ大統領

モラレス大統領は、パラグアイにグアテマラ大使館を設立する旨述べた。両者は、主にパラグアイ産牛肉のグアテマラへの輸出促進及び牛の遺伝子に関する技術・知識の移転協力の立ち上げにつき意見を交わした。

(イ) フェリペ6世・スペイン国王

両者は、スペイン企業の投資促進への関心につき意見を交わすとともに、メルコスールEU間の交渉につき、両地域の統合・協力にとって重要であることを協調しつつ、同交渉の前進及び締結のための両国の約束を表明した。また、両者は、イベロアメリカ・サミットの、スペインとイベロアメリカ地域の協力を強化する機構としての重要性を強調した。

(ウ) サンチェス・スペイン首相

サンチェス首相は、パラグアイ・スペイン貿易関係に関して、パラグアイから、特に牛肉の輸出を増加させることに関心を示し、貿易・投資を促進すべく、企業及び閣僚級の往来を行いたい旨明らかにした。アブド・ベニテス大統領は、ベネズエラでの人道危機に関連して、民主主義及び人権を擁護するパラグアイの立場を主張した。サンチェス首相は、ベネズエラの危機及び世界への影響につき憂慮を表明した。

### 3 要人往来

#### (1) 往訪

- アブド・ベニテス大統領、カスティグリオールニ外相他、イタリア、バチカン（公式訪問、経済フォーラム出席）
- ウィンス公共事業相、ボリビア（大陸横断鉄道計画関連会議出席）
- リオス司法相、ウルグアイ・モンテビデオ（第43回メルコスール司法大臣会議出席）

- ビジャマジョール内相, ウルグアイ・モンテビデオ (第42回メルコスール内務大臣会議出席)
- マッソレーニ厚生相, カタール・ドーハ (世界医療イノベーションサミット出席)
- カスティグリオールニ外相, 亜・ブエノスアイレス (公式訪問)
- クラメル商工相, ウルグアイ・モンテビデオ (商業ミッション)
- アブド・ベニテス大統領, カスティグリオールニ外相, グアテマラ・アンティグア (第26回イベロアメリカ首脳サミット出席, 二国間会談)
- ペッタ教育相, ウルグアイ・モンテビデオ (メルコスール教育大臣会議出席)
- ロメロ女性相, 亜・ブエノスアイレス (文化イベント)
- カスティグリオールニ外相, 米国・NY (在米国連代表部との打ち合わせ)
- カスティグリオールニ外相, ベルギー・ブリュッセル (メルコスール-EU 外相会合)
- マルティネス幼児少年省, チリ・サンティアゴ (第一回ラテンアメリカ・カリブ「児童の権利に関する条約」採択30周年にかかる会談)